

議会広報広聴特別委員会 行政視察調査報告書

- 1 視 察 日 2019年7月29日（月）～30日（火）
- 2 視 察 先 〇石川県白山市
・議会だよりの編集について
〇富山県南砺市
・議会だよりの編集について
- 3 視 察 者 委 員 長 松 井 正 志
副 委 員 長 青 山 正 憲 司
委 員 員 芦 田 竹 彦
委 員 員 石 津 一 美
委 員 員 井 上 正 治
委 員 員 木 谷 敏 勝
委 員 員 土 生 田 仁 志
委 員 員 村 岡 峰 男
議会事務局 木 山 敦 子



白山市：表紙は地元大学美術学科学生のイラスト、一般質問の文字数は200字！（市議会議場にて）



南砺市：タイムリー！6月定例会の報告を7月25日に発行！（福光庁舎前で）

日 時	2019 年 7 月 29 日（月） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
視 察 先	石川県白山市
調査項目	議会だよりの編集について
調査内容	①市の概要について ②議会だよりの編集について ③その他意見交換
所 感	議会広報紙のコンクール等において、毎回、高い評価を受けている白山市の取り組みを視察した。 【白山市議会広報編成方針】 ・市広報に掲載される記事は掲載しない。 ・掲載方法をコンパクトにし、フルカラー印刷して 12 ページ固定とする。 ・文章は、分かりやすく簡潔にし、読者の抵抗を抑える。 ・表紙をイラスト化して、若い世代をターゲットとする。 ・文章を簡潔にし、余白を有効活用して紙面全体をゆったりとする。 ・一般質問の記事は 1 項目とし、質問と答弁を合わせて 200 文字とする。 ・一般質問の見出しに、質問と答弁を掲載する。 ・2015 年度から広報広聴委員会（常任委員会）とする。 ・委員会に印刷事業者を同席させて、校正の迅速化を図っている。 また、委員からの質疑応答で、特徴的なものを下記に示す。 ・広報広聴委員会の委員構成と会派構成に偏りがあるが、広報の記事内容の公平性は、市政に対する大方の部分に大きな違いがなく担保している。 ・全員賛成の議案を掲載する理由については、賛否の分かれた議案だけでなく、主要な議案で全議員が賛成した議案もあることを市民に知らせるため。 ・表紙にイラストを採用するにあたり、提供大学から当初は拒否されたが、粘り強くアプローチして理解を得て、現在は積極的に協力していただいている。 ・一般質問は、200 文字で伝えたいことが伝えられるのかとの疑問に対して、当初は議員から異論もあったが、2、3 回目でなくなった。苦情もない。議会だよりですべてを伝えることは無理であり、入り口的な存在である。 ・表紙のイラスト化についての評価や継続性についての疑問に対しては、評価は人による。学生に見てもらおうという目的もある。 ・議会報告会は、28 地区、全地区にアプローチをかけている。3 回／年開催している。地区に近い議員に報告会開催の打診をしている。 視察を終えて、議会広報は入り口であり、すべてを知らせるための手段でなく、できる限り内容は簡潔に、そして、分かりやすくすることを第一義に構成されていることが明らかだった。また、そのことが議員自身の負担軽減にも寄与していることがわかる。女性や若者に親しんでもらうための工夫もあり、見習うところは多いと感じた。

日 時	2019 年 7 月 30 日（火） 午前 9 時 00 分～午前 11 時 00 分
視 察 先	富山県南砺市
調査項目	議会だよりの編集について
調査内容	①市の概要について ②議会だよりの編集について ③その他意見交換
所 感	広報の即時性と定例化、議会報告会の定時開催など南砺市における広報・広聴の取り組みからも多くの参考となる事例が視察できた。 【南砺市議会広報編成方針】 ・議会だよりは、議会月の翌月発行をしている。 ・字は大きく読みやすさを重視している。 ・一般質問の記事には、答弁の見出しを記載している。 ・読みたいところが分かりやすいインデックスをつけている。 ・申し合わせ事項による議会広報・広聴活動の平準化を図っている。 ・高校生との意見交換会の開催など、若者へ議会活動の関心を持ってもらうための活動も積極的に展開されている。 ・議会報告会は、女性にも議会の活動に関心を持ってもらうための工夫をしている。 また、委員からの質疑応答で、特徴的なものを下記に示す。 ・会派構成が 1 会派だけであり、市政方針等への賛否が全会一致とならざるを得ない。市民にとっては、議論の内容が分かりにくいのではないかと思います。が、議会の中での議論は尽くされており、1 会派によるなれ合いはなく、調整事も早い。 ・広報紙の議会月の翌月発行という即時性の担保は、事務局において行程管理をきっちりしている。 ・議会報告会の女性や高校生へのアプローチは、女性議会の開催やショッピングセンターでの開催、傍聴アンケートの集約、高校へのアプローチなどを行っているものの、苦慮しているのが実態 ・議会広報の翌月発行は、一般質問の答弁など内容の正確さが問題となるが、当局から答弁書を提出してもらっており、質問に対する答弁内容に齟齬がないようにしている。また、ユーチューブでも確認しており、問題はない。 視察を終えて、議会広報紙の議会月の翌月発行は速報性を重視する観点から大変重要と考える。それを実行されていることに敬意を払いたい。また、市政に関心の薄い傾向がある若者や女性へのアプローチに苦慮されながらも、工夫しておられる様子がうかがえた。議会活動の一環として定例議会開催後に議会だよりの発行、その翌月に議会報告会の開催と定例化がされており、併せて、「広報広聴特別委員会申し合わせ事項」を議員が順守することで広報・広聴活動の平準化が図られているものと思料された。